山梨県北巨摩郡須玉町

五反田遺跡
GOTANDA SITE

株式会社コメリホームセンター須玉店に伴う発掘調査報告書

2002

須玉町教育委員会
特定非営利活動法人
文化資源活用協会

山梨県北巨摩郡須玉町

五反田遺跡
GOTANDA SITE

株式会社コメリホームセンター須玉店に伴う発掘調査報告書

2002

須玉町教育委員会

特定非営利活動法人
文化資源活用協会

五反田遺跡主要部全景（ケーブル写真より合成）

例　　言

1　本報告書は、株式会社 コメリホームセンター須玉店建設に伴う五反田遺跡の文化財発掘調査の報告書である。

2　遺跡は山梨県北巨摩郡須玉町若神子字五反田 1936-1 番地ほかに所在する。

3　試掘は須玉町教育委員会が行い、本調査.遺物整理.報告書は 株式会社コメリの依託により須玉町教育委員会が調査主体となり、その指導のもと特定非営利活動法人文化資源活用協会が行った。

4　本書の執筆、編集は山路恭之助、深沢裕三が行ないDTP編集は浅川佐知子が行った。

5　本調査の出土品.諸記録は須玉町教育委員会が保管している。

6　発掘調査組織

調査主体　須玉町教育委員会　教育長　藤巻宣夫

調査担当　須玉町教育委員会　山路恭之助

調査委員　深沢裕三

7　遺物の復元、接合、注記、拓影は、岡本美恵子、市川道夫、市川博子、岡本文美が行い実測.トレース及び図面作成は岡本美恵子、小尾裕美子、浅川佐知子、岡本文美が行った。

8　発掘調査参加者

浅川英光、伏見徳芳、角井保之助、深沢照明、深沢直江、小澤久恵、八巻まさ子、石川モト子、宮崎夏子、宮沢今朝子、花輪照子、土屋節子

凡例

1　本書で用いた地図は、国土交通省国土地理院の数地 200000（甲府 1/200000 平成 9 年 7 月 1 日発行）及び、数値地図 25000（若神子 1/25000 平成 9 年 10 月 1 日発行）である。

2　実測図の土器.陶器断面が黒塗りは須恵器、それ以外の白抜きは土器.土師器などである。

3　遺構及び遺物の挿図中の縮尺は下記のとおりである。

遺構　全体図：1/500

遺物　土器実測図 1/1、1/2、1/3　石器実測 1/3　磁器.陶器 1/2　その他 1/1

目　　次

巻頭図版
例　言
目　次
第１章　調査状況
（1）　調査の実施と経緯 1
第２章　遺跡の立地と環境 2
第３章　遺構と遺物
（1）　暗渠 5
（2）　礎石遺構 5
（3）　竪穴遺構 5
（4）　遺物 5
まとめ 6

挿図．図版．表目次

第１図　遺跡位置図 2
第２図　遺跡と文化財 3
第３図　遺跡詳細図 4
第４図　遺跡全体図 6
第５図　出土遺物（縄文時代） 7
第６図　出土遺物（弥生時代） 7
第７図　出土遺物（石器） 8
第８図　出土遺物（石器） 9
第９図　出土遺物（平安時代） 10
第10図　出土遺物（中世～近世） 11
第11図　出土遺物（その他） 12

図版１　発掘風景　暗渠
図版２　竪穴遺構　礎石No3
図版３　出土遺物（縄文．弥生．平安時代）
図版４　出土遺物（石器）
図版５　出土遺物（中世～近世）
図版６　出土遺物（古銭．その他）

表１　出土遺物観察表
表２　出土遺物観察表

第１章　調査状況

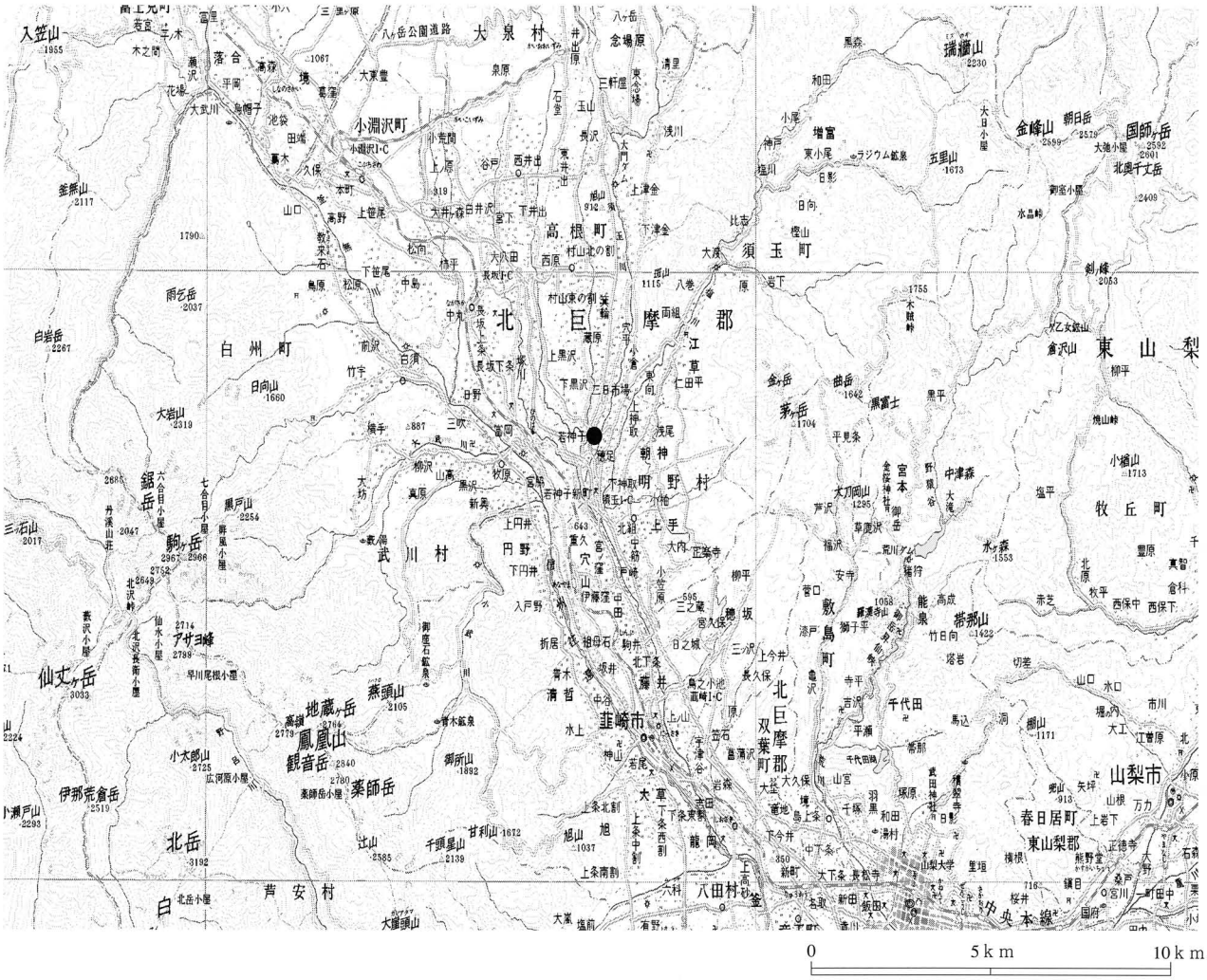
(1) 調査の実施と経緯

本調査は、平成12年12月８日付けにより株式会社コメリホームセンター須玉店建設予定地における埋蔵文化財の有無及び取り扱いについて須玉町教育委員会に照会があり、平成12年11月８日から13日迄試掘調査した結果、縄文時代中期末から後期初頭と中葉にかけての遺物と平安時代から中世、近世の遺物が出土した。教育委員会では株式会社コメリの依託により、本調査を特定非営利活動法人文化資源活用協会に依頼し、三者にて平成13年3月22日に協定を締結した。本調査は、平成13年4月4日から始まり、盛土となる駐車場区域を除いて、建物建設予定地に限定し行われ、平成13年5月2日に調査が終了した。遺物は、調査区域の西側に集中して検出された。幅40ｃｍ深さ20ｃｍに溝を掘り、左右2段の基礎石を並べ、隙間を拳大の河原石や小石で埋め、扁平な河原石を蓋石として乗せた暗渠が北東から南西へ約18.5ｍ構築されていた。暗渠内から出土した遺物は、土師質土器の底部に近い胴部片1片のほか、黒釉を含む施釉陶器の碗、高台付皿等がある。暗渠が検出されたグリットに隣接するグリット内から3基の礎石遺構が検出された。遺構は、直径1ｍ前後の円形或いは、不整形のプランを呈し、人為的に半截した扁平な河原石で穴を塞いでいる。扁平な石の周囲には、小石や拳大の丸石が埋められていた。遺構内からの遺物はないが、周辺から陶磁器片、小型ガラス瓶、瓦片のほか、墓地で見るビリ石が1基の穴から検出されている。残る遺構は、長楕円形のプランを呈した竪穴で規模は、長軸2.55ｍ短軸1.22ｍで深さ14ｃｍ～16ｃｍの平底で出土遺物はない。

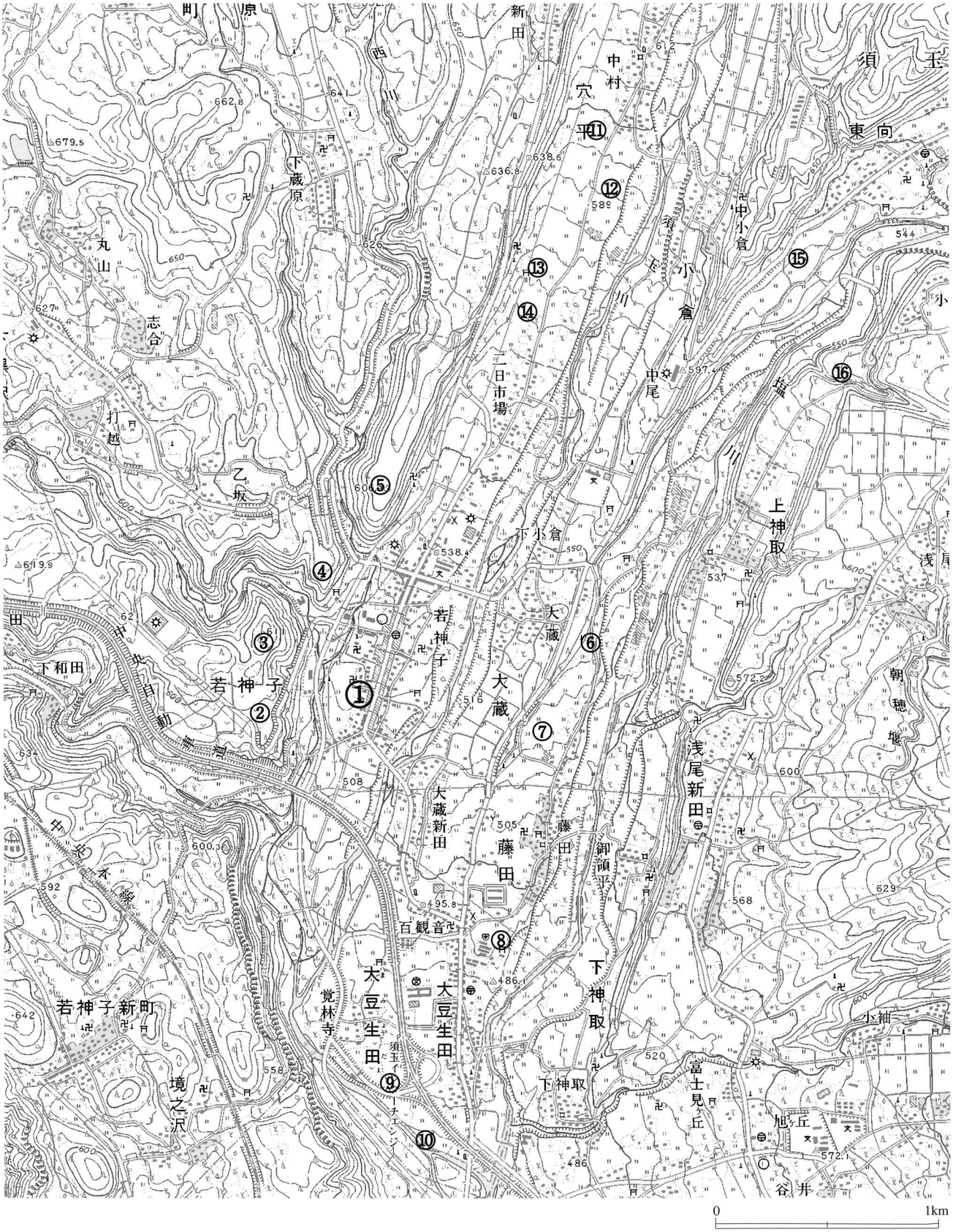
竪穴住居趾の検出を見ることはできなかったが、縄文時代中期末の渦巻状把手、ハの字文を施文した深鉢片、口縁に溝が巡り円形刺突文を施した後期の堀之内式土器片、口縁に小突起を配し円形刺突の晩期の土器片、口縁に刻目を施し口縁下に櫛状工具による4本単位の斜線文を施したもの、頸部に櫛目状条線を縦方向に施文した土器片は当遺跡では稀有の弥生式土器である。平安時代甲斐型土器坏、皿、カメの破片、在地系の土師質土器片、須恵器片、灰釉陶器片、中世では、黒釉はじめ各種の施釉陶器が、近世では、染付磁器、白磁器と碗、皿の陶磁器片がある。石器は磨石、摺り石、凹石、打製石斧、磨製石斧、有茎と無茎の黒曜石石鏃と石錐があり他には、鉄滓と北宋銭４枚、寛永通宝1枚がある。住居趾が全く検出されない代わりに遺物が長期に亘るのと、器種が多岐であるのが本遺跡の特徴である。

第２章　遺跡の立地と環境

五反田遺跡は、北巨摩郡須玉町若神子字五反田地内、標高510ｍの地点に所在する。須玉町は、県の北北西に位置し面積約174平方Kmあって、早川町に次ぐ広さを有する。山地は北東部を中心に広がり、全体の75％を占め、塩川、須玉川が形成した河岸段丘上を中心とする平地は南西部に集中し集落と共に沃田が広がる。須玉川に沿って南北に集落が連なる若神子地区うち、穴平、二日市場は、縄文時代後期から晩期にかけての川又遺跡、縄文時代中期と平安時代にかけての西川遺跡、平安時代を中心の蟹坂遺跡と蟹坂東遺跡、縄文時代中期末と平安時代の飯米遺跡、縄文時代中期末と平安時代の宮田.笠張遺跡などがある。若神子は「甲斐國志」に「相伝ヘテ新羅三郎義光ノ城跡ナリト云フ。」と記す若神子古城はじめ、北城、南城が町の西に在って、若神子地区には17ヶの小字に分かれ、中世城館に関わりがあると思われる字名は御所村、御所前、御所北、竜ノ口、後田などがある。五反田はこの地区の最南端にあって、町指定の文化財の阿弥陀三尊名号板碑が立つ時宗長泉寺が遺跡の北側に在る。

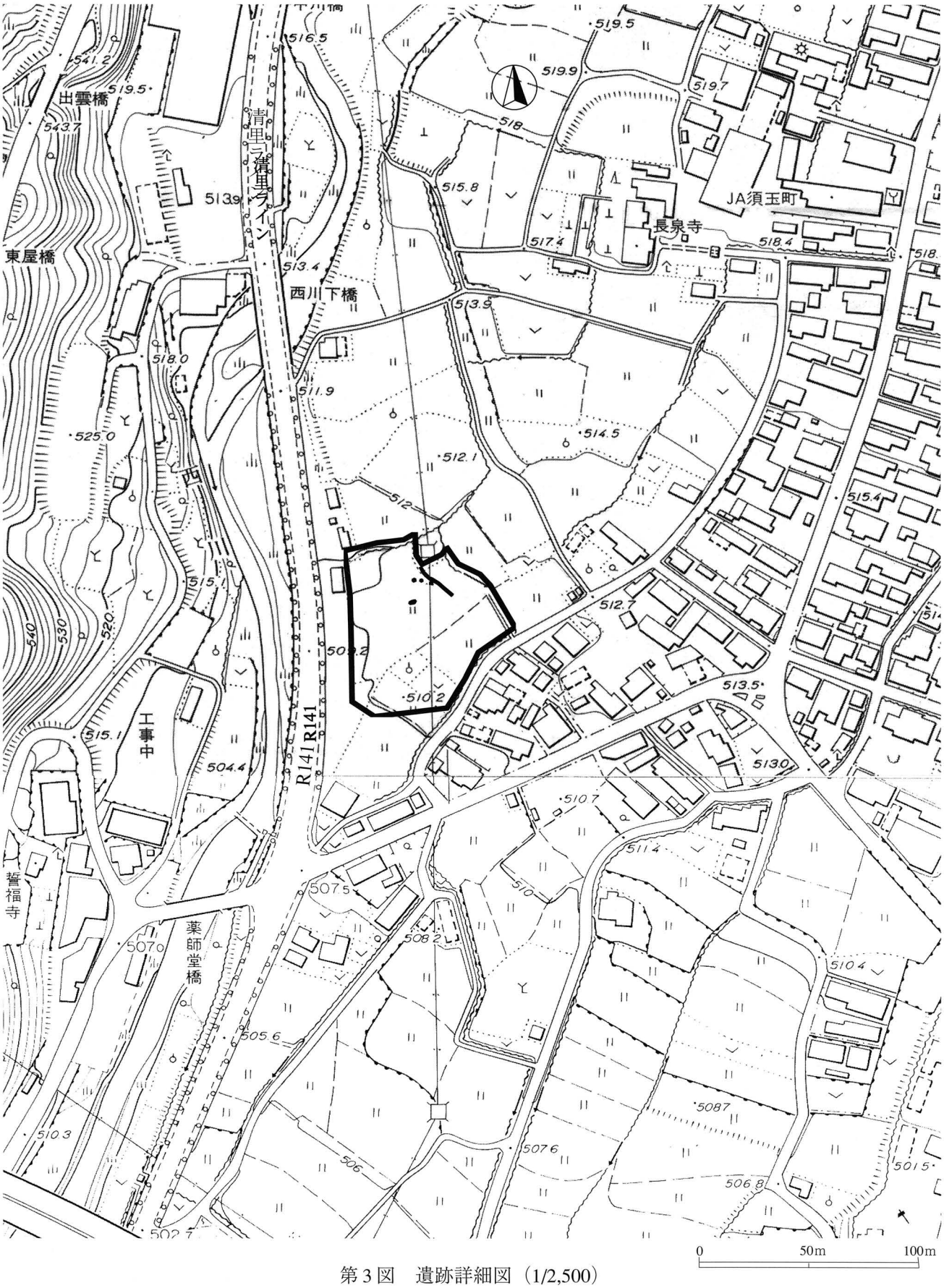


第１図　遺跡位置図（1/200,000）



第2図　遺跡と文化財（1/25,000）

1 五反田遺跡　2 大小久保遺跡　3 若神子南城　4 若神子古城　5 若神子北城　6 塚田遺跡　7 滝下遺跡
8 腰巻 . 腰巻北遺跡　9 大豆生田遺跡　10 多屋前遺跡　11 柳坪遺跡　12 飯米遺跡　13 蟹坂遺跡
14 宮田 . 笠張遺跡　15 大木田遺跡　16 下平遺跡



第3図　遺跡詳細図（1/2,500）

第3章　遺構と遺物

(1) 暗　渠

幅40ｃｍ、深さ20ｃｍの溝を穿ち、左右に二段の基礎石を並べ、基礎石の隙間には拳大の河原石や小石を埋め、その上に蓋石として扁平な河原石が乗せられている。調査区の北東から南西へ約18.5m構築されており、調査区外へ続く。暗渠内から出土した遺物は、平安時代の土師質土器の底部に近い胴部のほか、黒釉を含む施釉陶器、染付磁器の碗、高台付皿等がある。

(2) 礎石遺構

暗渠が検出されたグリットと隣接する西側の2つのグリット内から3基の遺構が検出された。遺構は、直径1ｍ前後の円形或は不整形のプランを呈し、上面が平らで、反面が自然の河原石を半截して中央に据え、まわりには小石や拳大の丸石が埋められている。出土遺物は礎石遺構Ｎｏ１の周辺から陶磁器片、小形のガラス瓶の完形1のほか瓦が出土している。

(3) 竪穴遺構

調査区の西隅に占地し、隅丸長楕円形のプランを呈し規模は、長軸2.55ｍ短軸1.22ｍ深さ14ｃｍ～16ｃｍの平底である。出土遺構はなく、時期不明である。

(4) 遺　　物

1　縄文時代（第5図　図版3）

ハの字文を施した深鉢片（1）,沈線間に磨消縄文を施した深鉢胴部片（2)、渦巻状把手口縁片（3)、口縁に溝を巡らせ円形刺突文の深鉢片（4）などが出土。

2　弥生時代（第6図　図版3）

口縁に刻目を巡らし口縁下に櫛状工具による4本単位の斜線文がある土器片（1)、頸部に櫛目状条線を縦方向に施文した土器片(2)、斜め方向に櫛目状条線を施文した頚部片(3)などが出土。

3　石器（第7.8図　図版4）

磨製石斧(1)、打製石斧(2)、凹石(3.4)、摺り石(5)、敲石(6)、丸石(7)、石鏃の有径(8)、無径(9.10)や石錐(11)などがある。

4　平安時代（第9図　図版3）

甲斐型土器の坏、皿、甕の破片、在地系の土師質土器片(1.2.3)、須恵器口縁片(4)などが出土。

5　中世～近世（第10図　図版5）

黒釉はじめ各施釉陶器(1.4)、天目茶碗片(2)、白磁片や皿の陶器片(3)、染付磁器(5.6.7.8)などが出土。

6　その他（第11　図版6）

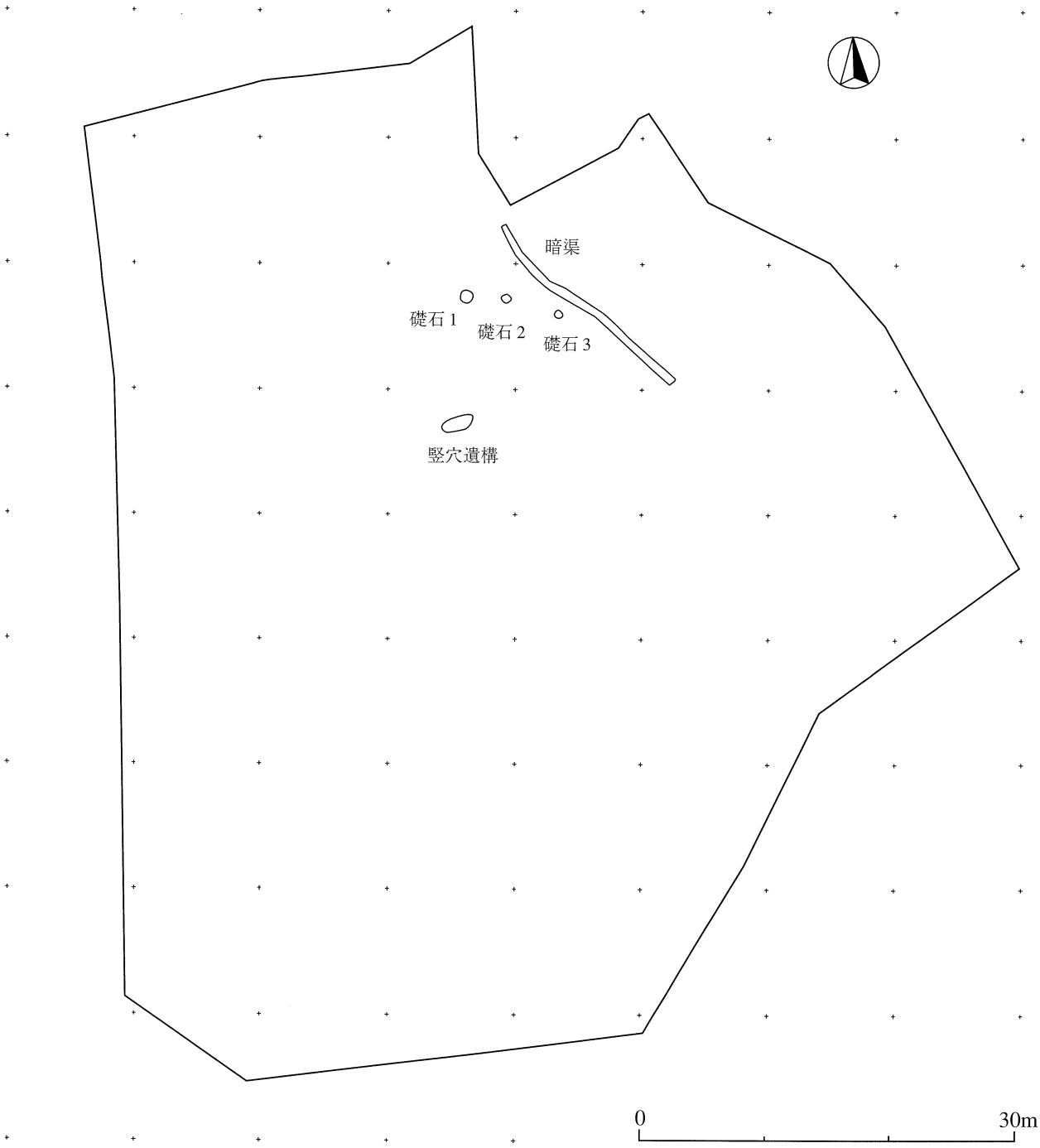
北宋銭の開通元宝(1)、熙寧元宝(2)、照寧元宝(3)(楷書.篆(てん)書で２枚)、天聖元宝(4)、江戸時代の寛永通宝(5)があり、他には印鑑(6)、小型ガラス瓶(7)、煙管(8)、鉄滓がある。

まとめ

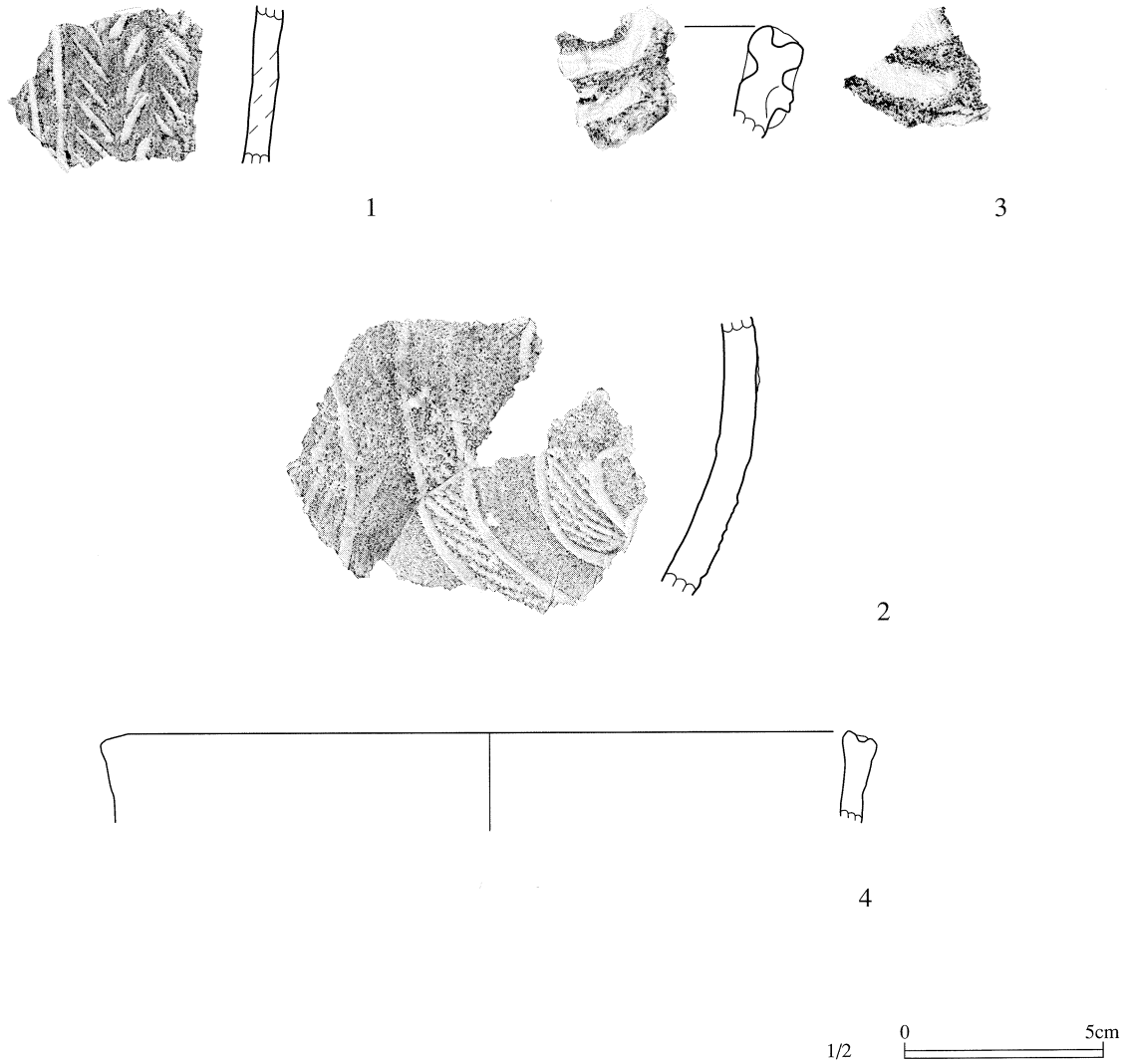
縄文時代中期中葉から弥生、平安時代そして中世から近世までの遺物の出土によって一時的な生活の場、或いは長期に亘って集落を営んだ生活の証を知る事が出来た。遺構の存在は確認できなかったが、王城の地、奈良、京と異なる文化をもつ僻遠の地の文化が一つ一つ掘り出され感一入である。

参考文献

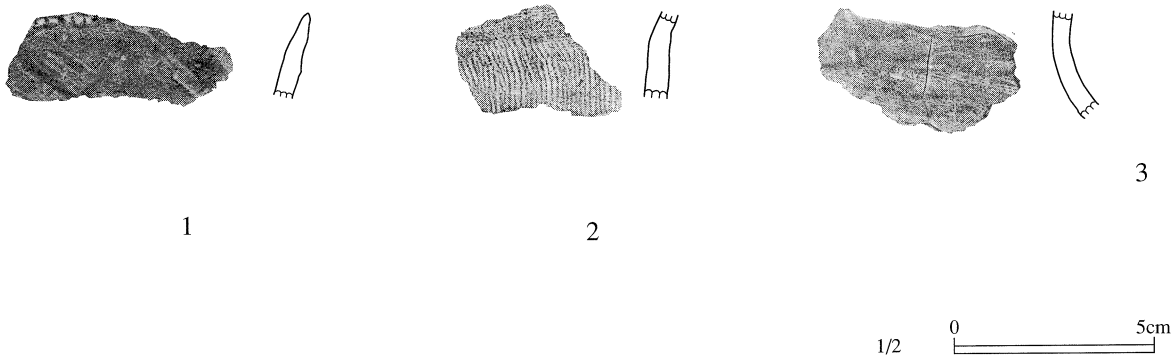
山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第148集『鰍沢河岸跡』山梨県教育委員会1998年



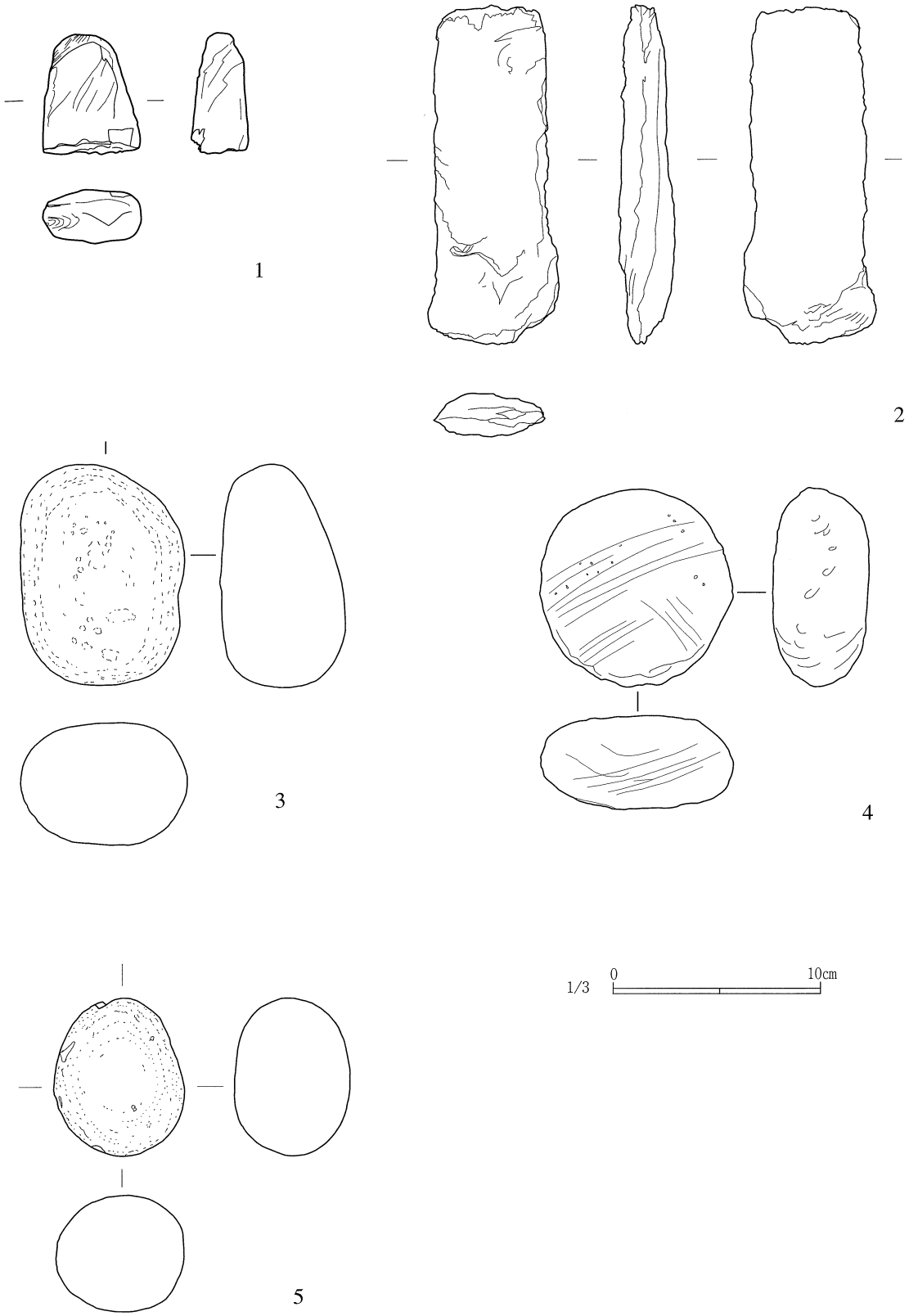
第4図　遺跡全体図（1/500）



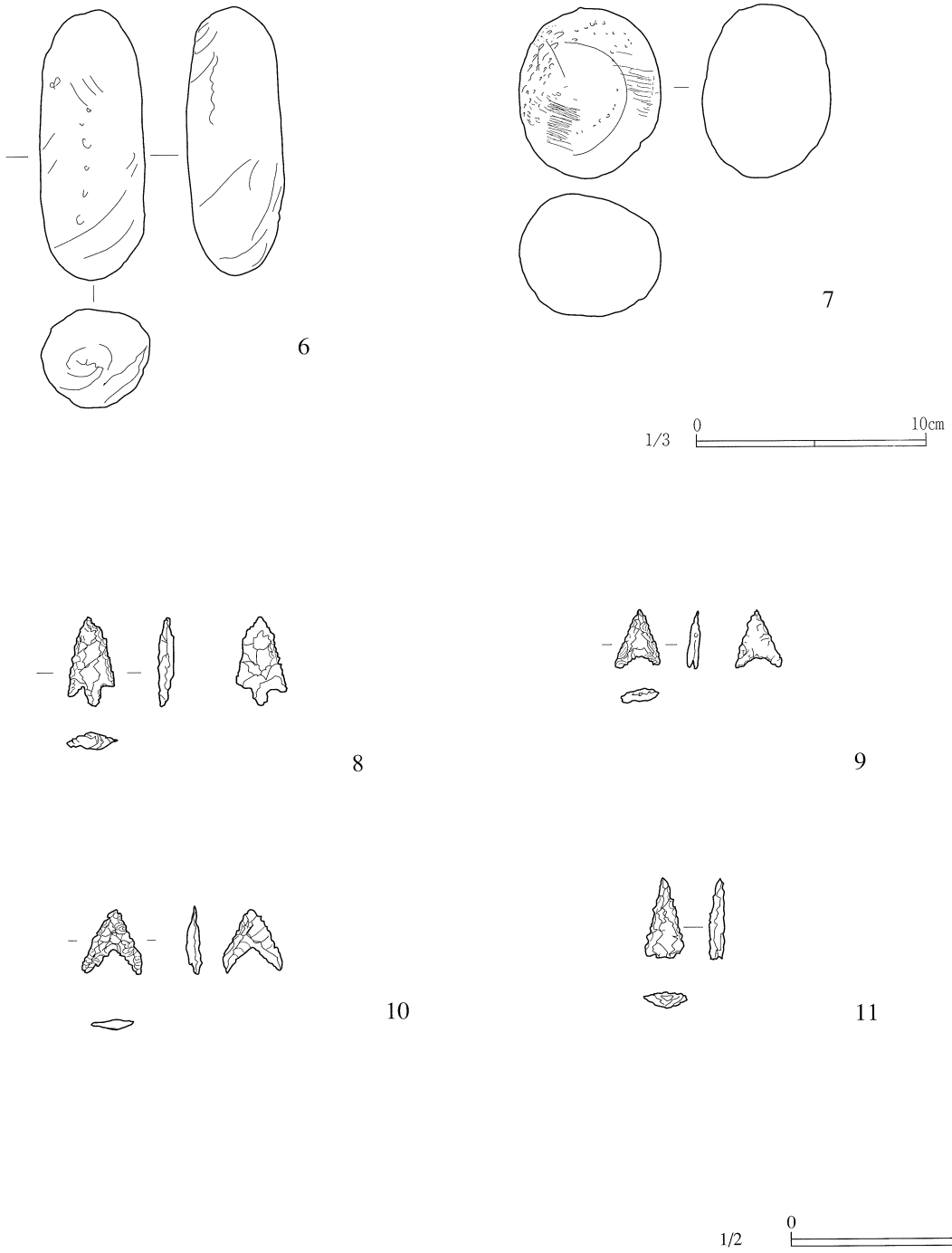
第５図　出土遺物（縄文時代）



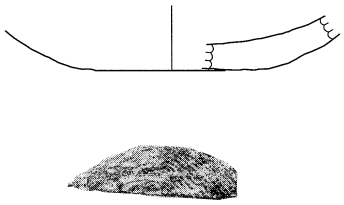
第６図　出土遺物（弥生時代）



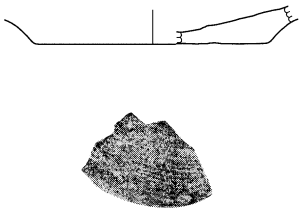
第７図　出土遺物（石器）



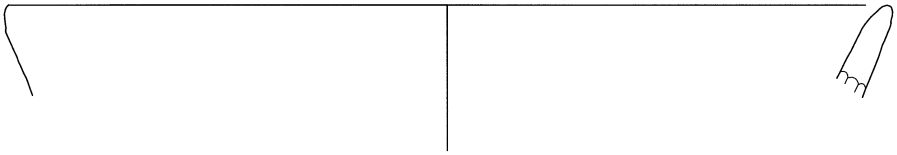
第8図　出土遺物（石器）



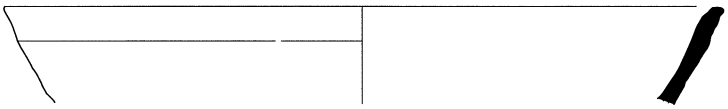
1



2



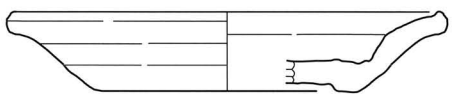
3



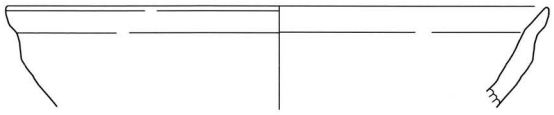
4

1/2 0 10cm

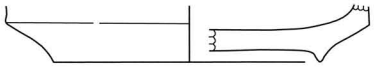
第９図　出土遺物（平安時代）



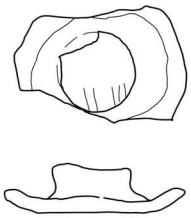
1



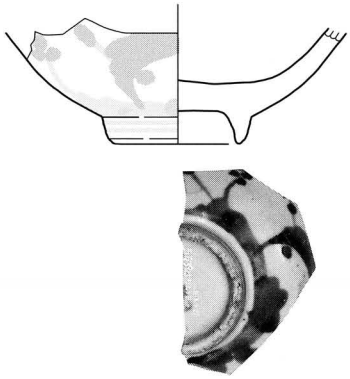
2



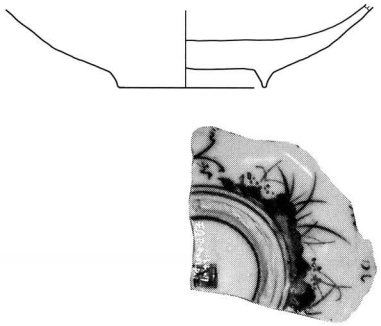
3



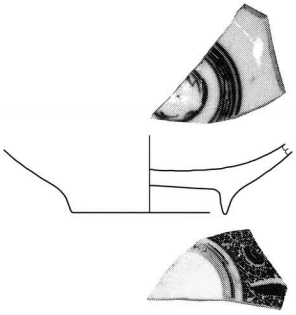
4



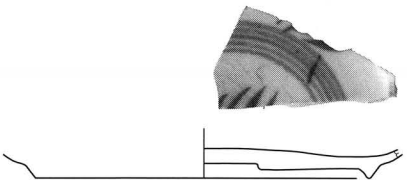
5



6



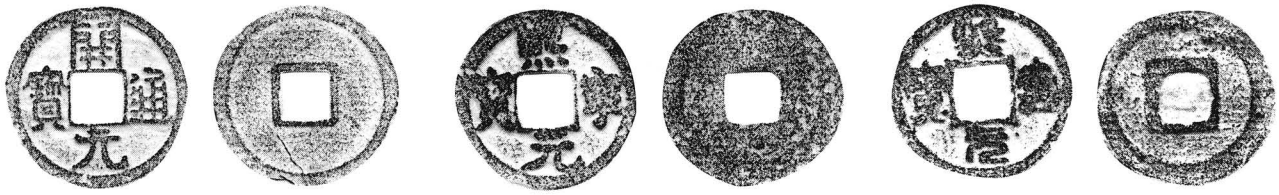
7



8

1/2 0 5cm

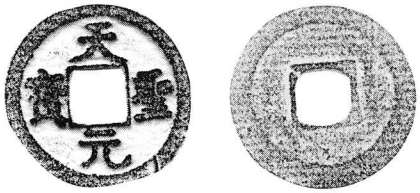
第10図　出土遺物（中世～近世）



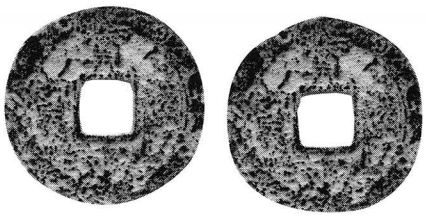
1

2

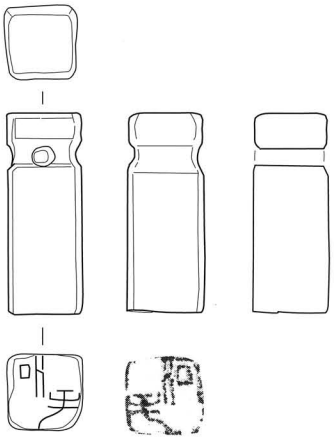
3



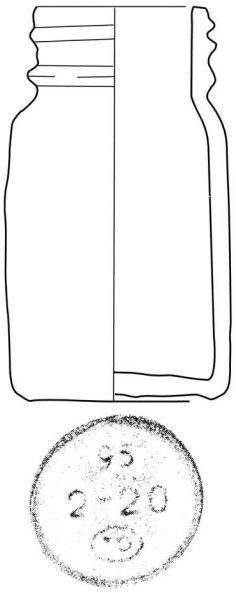
4



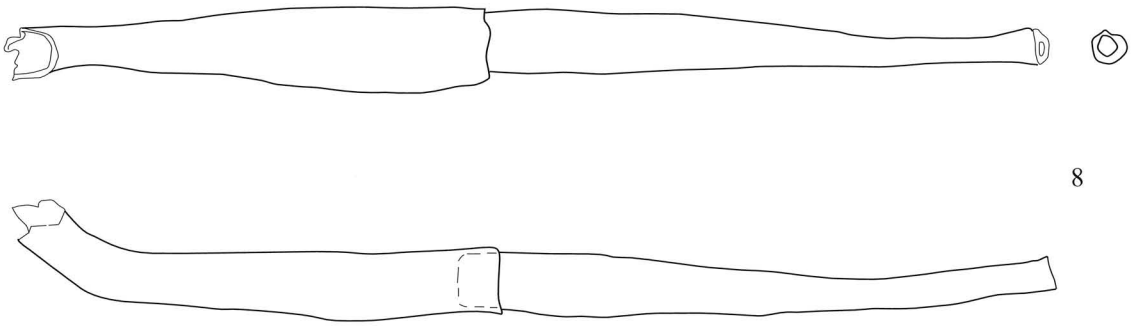
5



6



7



8

1/1 0 5cm

第11図　出土遺物（その他）

出土遺物観察表1

縄文時代

図	番号	種別	器種	口径（cm）	底径（cm）	器高（cm）	胎　土	備　考
5	1	土器	深鉢	-	-	-		
5	2	土器	深鉢	-	-	-		
5	3	土器	深鉢	-	-	-		
5	4	土器	深鉢	(30.0)	-	-		

石器

図	番号	器形	短軸（cm）	長軸（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	石材	備　考
7	1	磨製石斧	4.8	-	2.4	125	蛇紋石	
7	2	打製石斧	5.4	16.5	2.2	355	粘板岩	
7	3	凹石	10.6	5.3	5.8	810	安山岩	
7	4	凹石	9.1	9.7	4.5	510	安山岩	
7	5	摺り石	6.3	7.7	5.6	380	安山岩	
8	6	敲石	4.8	11.9	4.1	340	安山岩	
8	7	丸石	6.1	7.5	5.4	302	安山岩	
8	8	石鏃	1.5	2.6	0.4	2	黒曜石	有径
8	9	石鏃	1.2	1.7	0.3	1	黒曜石	無径
8	10	石鏃	1.3	1.9	0.4	1.5	黒曜石	無径
8	11	石錐	1.3	2.3	0.4	1	黒曜石	

弥生時代

図	番号	種別	器種	口径（cm）	底径（cm）	器高（cm）	胎　土	備　考
6	1	土器	壷	-	-	-	黒色,白色粒子	
6	2	土器	壷	-	-	-	黒色,白色粒子	
6	3	土器	壷	-	-	-	黒色,白色粒子	

平安時代

図	番号	種別	器種	口径（cm）	底径（cm）	器高（cm）	色　調	胎　土	備　考
9	1	土師器	皿	-	(4.8)	-	黄褐色		
9	2	土師器	坏	-	6.0	-			糸切り痕
9	3	土師器	甕	(22.9)	-	-	明茶褐色		甲斐型
9	4	須恵器	坏	(18.8)	-	-	灰色		

出土遺物観察表２

中世～近世

図	番号	種別	器種	口径（ｃｍ）	底径（ｃｍ）	器高（ｃｍ）	備　考
10	1	陶器	小皿	(11.0)	(6.8)	-	施釉
10	2	陶器	茶碗	(14.0)	-	-	天目
10	3	陶器	皿	-	(6.8)	-	灰釉
10	4	陶器	蓋	4.7	-	1.3	施釉
10	5	磁器	碗	-	3.2	-	染め付け　高台付
10	6	磁器	皿	-	(3.8)	-	染め付け
10	7	磁器	皿	-	(3.8)	-	染め付け
10	8	磁器	皿	-	(8.6)	-	染め付け

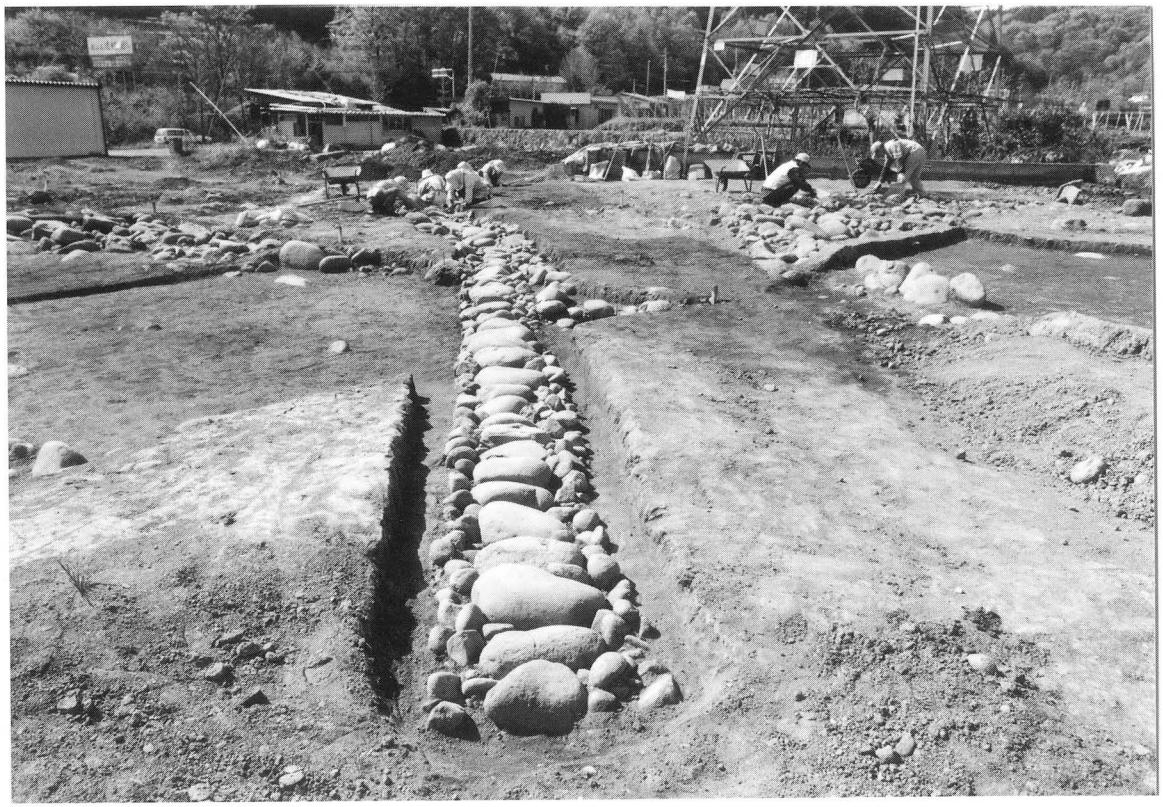
その他

図	番号	名称	直径（ｃｍ）	孔径（ｃｍ）	厚さ（ｃｍ）	重さ（g）	備　考
11	1	開通元宝	2.4	0.7	0.1	2.5	
11	2	熙寧元宝	2.4	0.7	0.1	2.5	
11	3	照寧元宝	2.4	0.7	0.1	2.5	
11	4	天聖元宝	2.4	0.7	0.1	2.5	
11	5	寛永通宝	2.4	0.7	0.1	2.5	

図	番号	種別	長さ（高さ）（ｃｍ）	底径（ｃｍ）	口径（ｃｍ）	厚さ（ｃｍ）	重さ（g）	備　考
11	6	印鑑	2.6			0.9	7.4	「河手」　孔径0.3cm
11	7	ビン	5.2	2.9	2.2		26.1	透明
11	8	煙管	12.8				12.5	煙管吸口6.0cm　孔径（0.2cm　0.7cm）6g 煙管雁首7.3cm　孔径（0.6cm　0.8cm）6.5g

写真図版

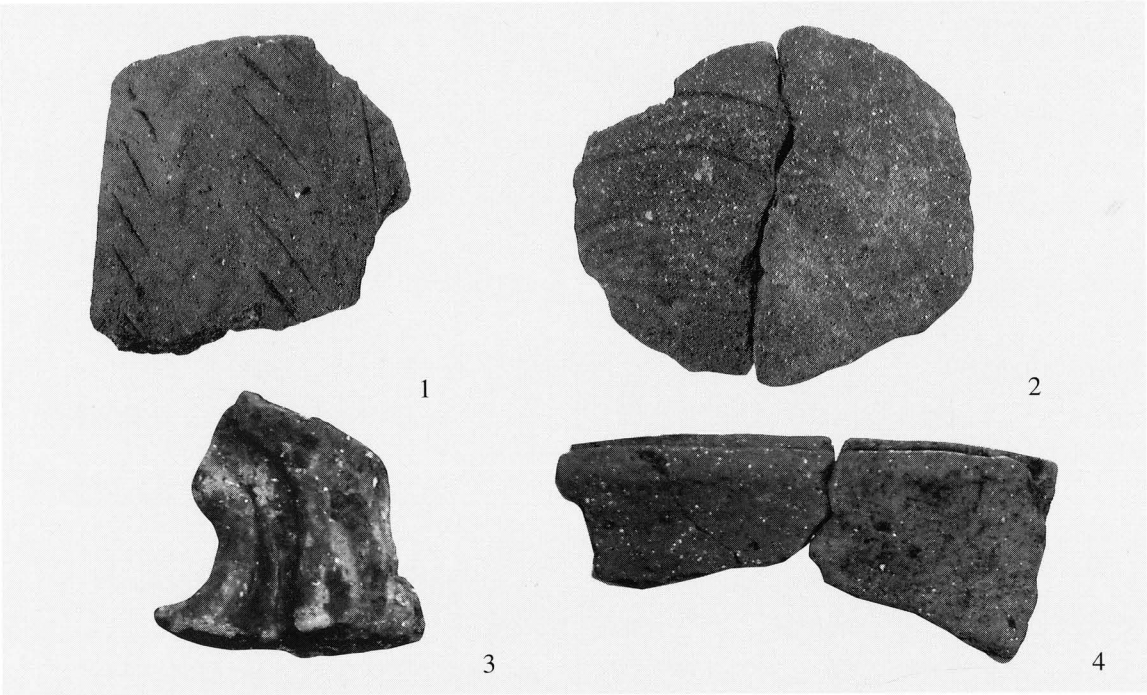
発掘風景



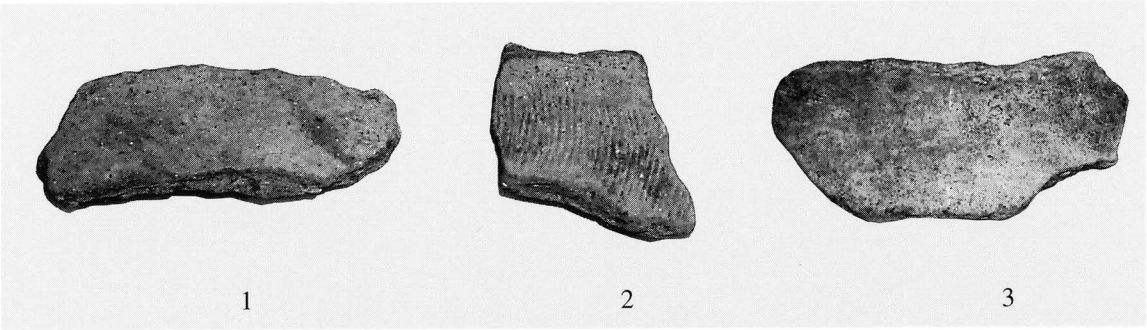
暗　渠

竪穴遺構

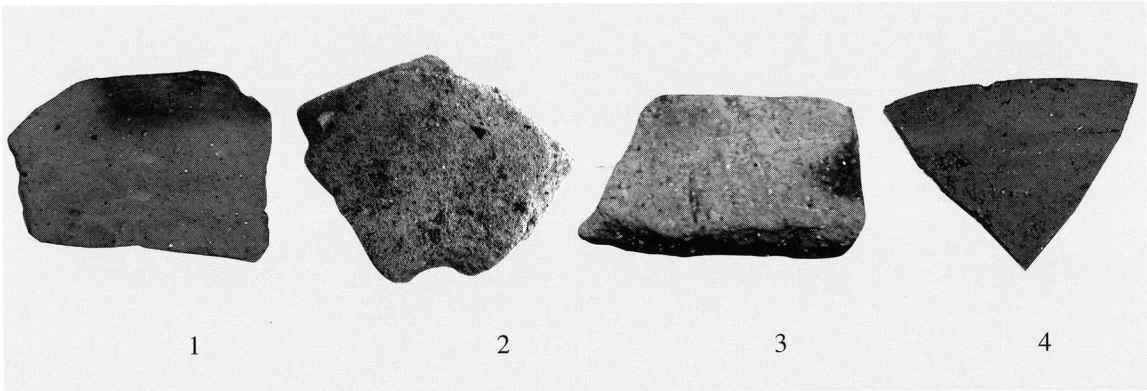
礎石遺構　Ｎｏ３



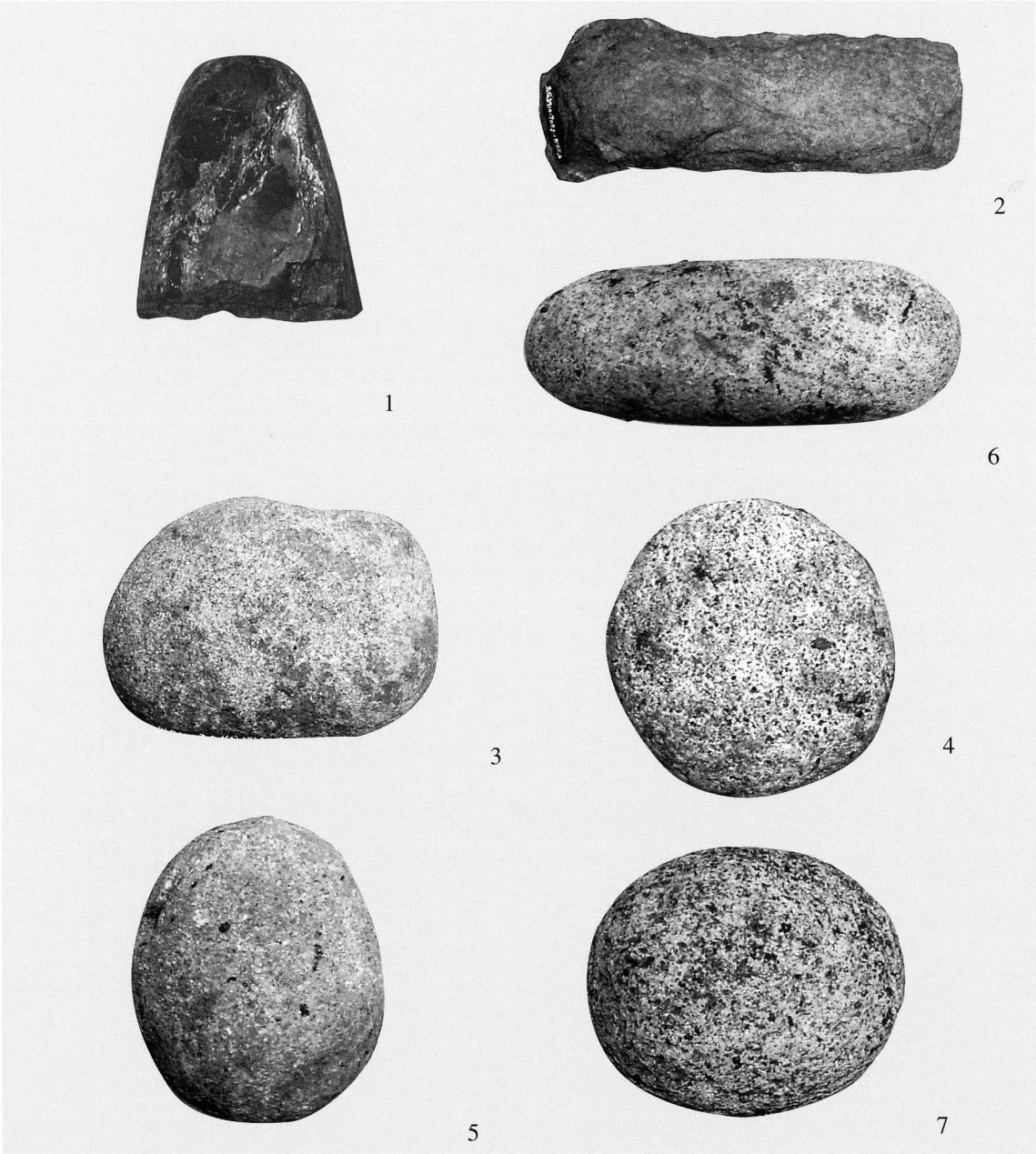
出土遺物（縄文時代）



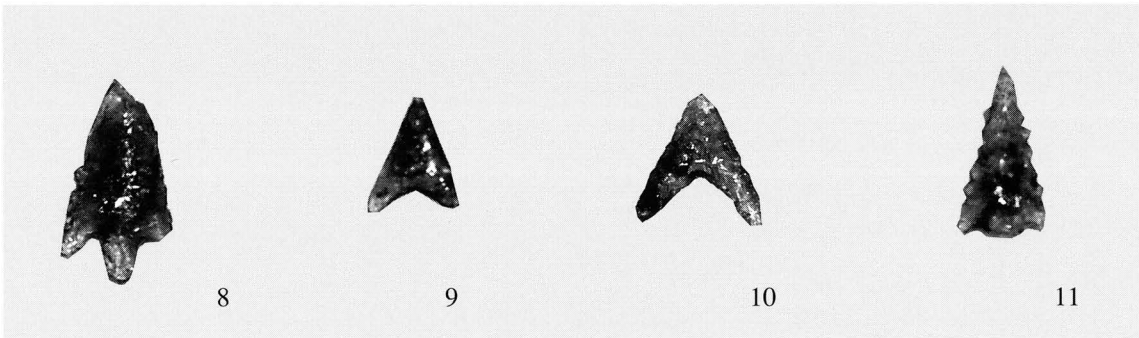
出土遺物 （弥生時代）



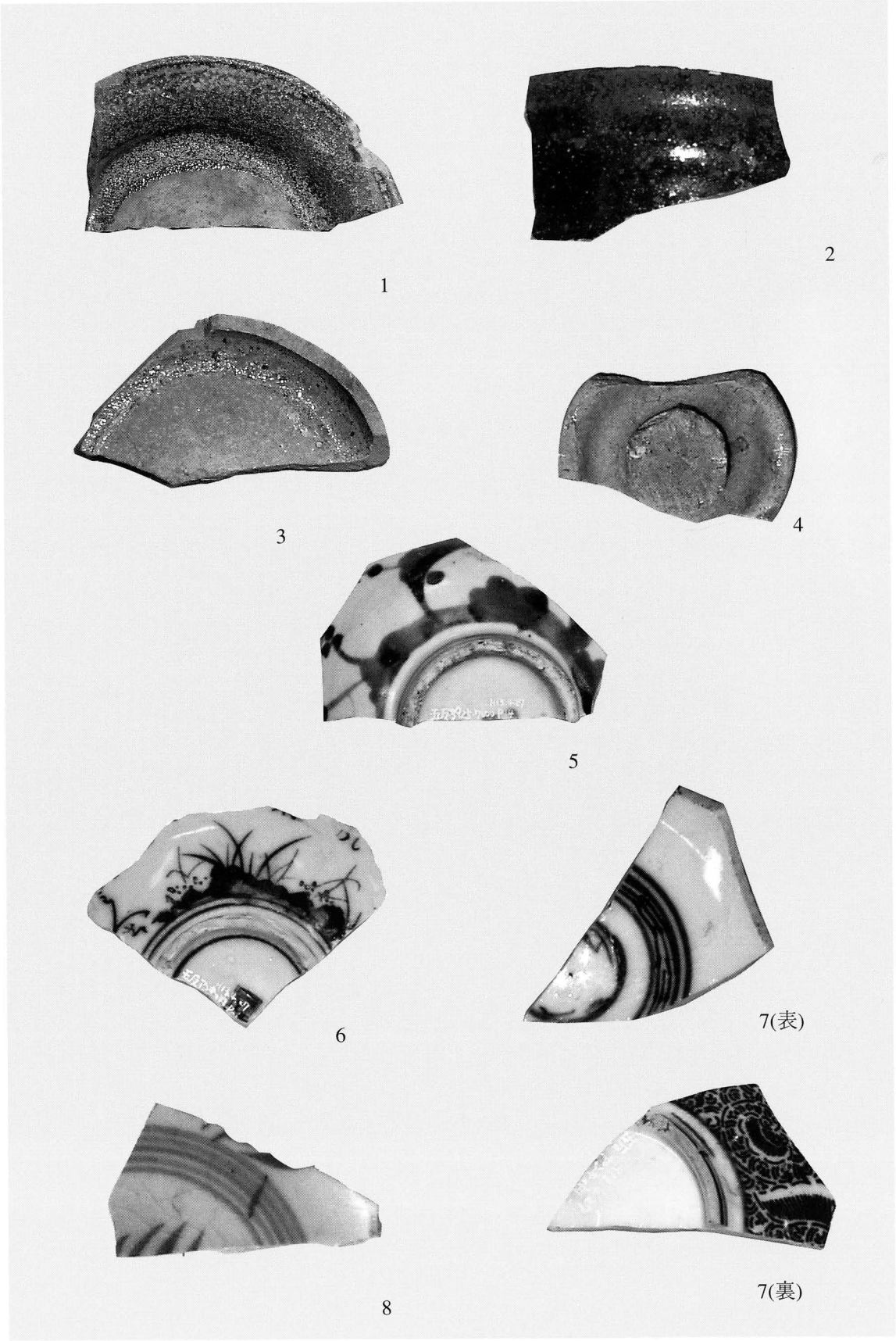
出土遺物（平安時代）



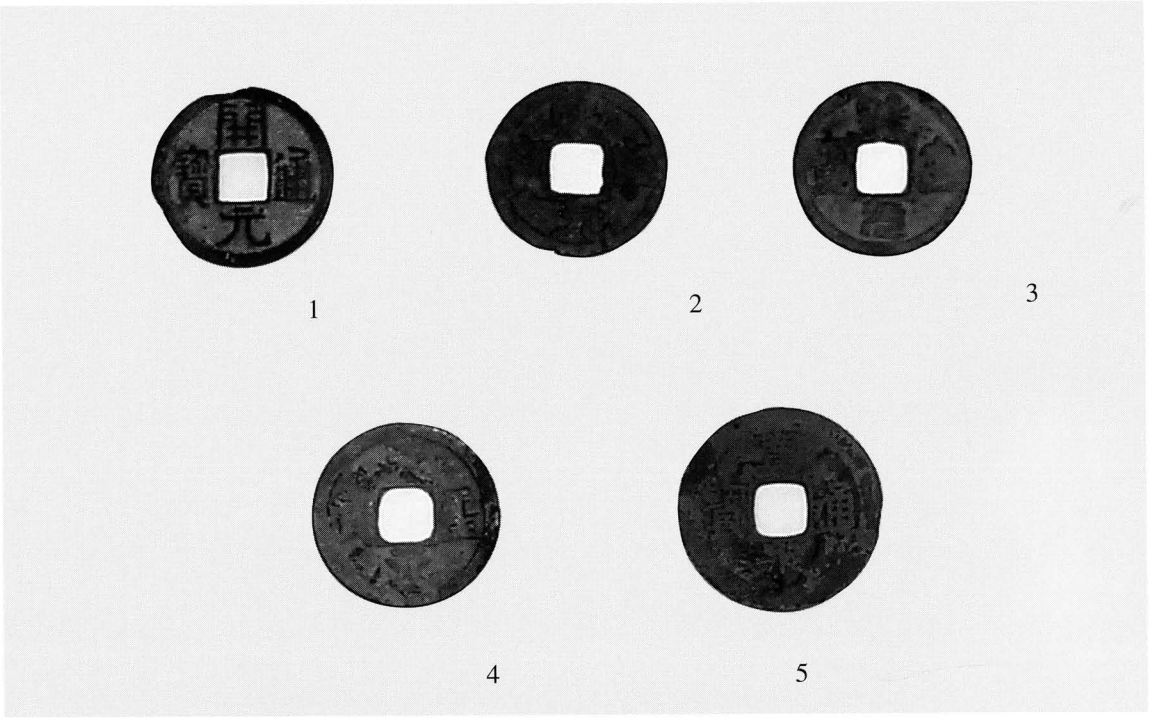
出土遺物（石器）



出土遺物（石器）



出土遺物（中世～近世）



出土遺物（古銭）

出土遺物（その他）

報告書抄録

ふりがな	ごたんだいせき
書名	五反田遺跡
副題	株式会社コメリホームセンター須玉店建設に伴う発掘調査報告書
シリーズ名	
編著者名	山路恭之助　深沢裕三
発行者	須玉町教育委員会　特定非営利活動法人文化資源活用協会
編集機関	須玉町教育委員会　特定非営利活動法人文化資源活用協会
所在地・電話	〒408-0112　山梨県北巨摩郡須玉町若神子1429　TEL0551-20-6111
発行日	平成14年5月31日
所在地	山梨県北巨摩郡須玉町若神子字五反田1936-1番地ほか
	25,000分の1地形図　若神子
	位置　東経138°25′21.9″　北緯35°47′4.4″　標高510m
	市町村コード　194034
調査原因	ホームセンター建設
調査期間	平成13年4月4日～平成13年5月2日
調査機関	須玉町教育委員会　特定非営利活動法人文化資源活用協会
調査面積	3,041m^2
時期	縄文時代、弥生時代、平安時代、中世～近世
主な遺構	暗渠、土坑、礎石
主な遺物	縄文土器、土師器、陶磁器、石器
特記事項	

印刷仕様

紙　　質	表　紙　テンカラーねずみ　215kg
	本　文　コート　　70.5kg
D　T　P	Macintosh Adobe PageMaker65
使用フォント	リュウミンL-KL、リュウミンU-KLを使用
画　像　原　稿	階調画像線数はカラー175線、モノクロ133線

五反田遺跡

-株式会社コメリホームセンター須玉店に伴う発掘調査報告書-

2002年5月31日発行

編　集	須玉町教育委員会
	特定非営利活動法人 文化資源活用協会
発　行	須玉町教育委員会
	特定非営利活動法人 文化資源活用協会
印　刷	株式会社　ヨネヤ